

平成23年10月20日  
於  
府中市立教育センター

平成23年第10回

府中市教育委員会定例会会議録

府中市教育委員会

平成23年第10回府中市教育委員会定例会会議録

- 1 開 会 平成23年10月20日(木)  
午後1時33分  
閉 会 平成23年10月20日(木)  
午後2時24分
- 2 会議録署名員  
委 員 北 島 章 雄  
委 員 崎 山 弘
- 3 出席委員  
委員長 久 芳 美恵子 委員長職務代理者 崎 山 弘  
委 員 北 島 章 雄 委 員 齋 藤 裕 吉  
教育長 糸 満 純一郎
- 4 欠席委員  
なし
- 5 出席説明員  
教育部次長兼総務課長 吉 野 寿 一 文化スポーツ部長 齋 田 文 雄  
総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹 月 岡 敏 浩 文化スポーツ部次長兼文化振興課長 後 藤 廣 史  
教育プラン21推進担当理事 田 中 陽 子 生涯学習スポーツ課長 澁 谷 智  
学務保健課長 中 村 孝 一 生涯学習推進担当副主幹 茂 木 孝 之  
学務保健課長補佐 市 川 直 次  
給食担当副主幹 須 恵 正 之  
指導室長補佐 桑 田 浩  
指導室副主幹 新 藤 純 也  
指導主事 国 富 尊  
指導主事 小野満 賢  
指導主事 山 本 勝 敏
- 6 教育委員会事務局出席者  
総務課係長 田 中 啓 信  
総務課主任 山 本 正 芳

## 議 事 日 程

第1 会議録署名員選定について

第2 会期決定について

第3 議 案

第26号議案

府中市生涯学習センターにおける指定管理者制度の導入及び府中市生涯学習センター条例の一部を改正する条例の申出について

第4 報告・連絡

第5 その他

第6 教育委員報告

午後1時33分開会

○委員長（久芳美恵子君） ただいまより、平成23年第10回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

○委員長（久芳美恵子君） 本日の会議録署名員は、北島委員と崎山委員にお願いいたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

○委員長（久芳美恵子君） 会期は本日1日といたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

○委員長（久芳美恵子君） 傍聴希望の方がいらっしゃいます。許可してよろしいでしょうか。  
（「はい」の声あり）

では、お願いいたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

◎第26号議案 府中市生涯学習センターにおける指定管理者制度の導入及び府中市生涯学習センター条例の一部を改正する条例の申出について

○委員長（久芳美恵子君） それでは議案の審議に入ります。第26号議案の朗読をお願いいたします。

（事務局朗読）

○委員長（久芳美恵子君） 説明をお願いいたします。

○生涯学習推進担当副主幹（茂木孝之君） それでは、生涯学習スポーツ課より、第26号議案、府中市生涯学習センターにおける指定管理者制度の導入及び府中市生涯学習センター条例の一部を改正する条例の申出につきまして、お手元の資料に基づき、ご説明いたします。

1の「趣旨」でございますが、現在、直営により施設の管理を行っている府中市生涯学習センター（以下、学習センターといいます。）につきまして、市民サービスの向上や施設のより効果的かつ効率的な運営を図るため、平成25年4月から指定管理者制度を導入するものでございます。

次に、2の「業務の範囲」でございますが、指定管理者に行わせる管理運営の業務は、（1）の学習センターで行う事業に関する業務、これは生涯学習の情報の提供、生涯学習及びスポーツ推進のための講座の実施に関する業務などとなっており、以下（2）の学習センターの施設、設備及び物品の維持管理に関する業務、（3）の使用許可に関する業務、（4）の使用の制限に関する業務、（5）の使用条件の変更及び使用許可の取消しに関する業務、（6）の特別の設備をし、又は付属する器具以外の器具を使用することについての許可に関する業務、そして（7）の（1）から（6）までに掲げる業務のほか、教育委員会が特に必要と認める業務としております。

なお、社会教育関連事務、また、図書館運営につきましては、指定管理者の業務範囲に含ませず、引き続き市が行うことといたします。

3の「管理運営の基準」でございますが、指定管理者の管理運営の業務を行う場合の基準は、（1）の法令及び条例の遵守、適正な管理運営、（2）の平等な利用の確保、（3）の適切なサービスの提供、（4）の施設等の維持管理、（5）の個人情報の適切な取り扱い、そして（6）の（1）から（5）までに掲げるもののほか、別途教育委員会が定める管理運営に関する基準

を満たすこととしております。

次に、4の「利用料金制度」でございますが、この制度は、指定管理者の自主的な運営を行いやすくすることによって、学習センターのより効果的な活用を図るため、今回、利用料金制度を導入するものでございます。このことにより、学習センターの利用料金は、現行の施設使用料の額の範囲内におきまして、その額を定めるものといたします。

5の「指定管理者の募集及び選定」でございますが、(1)の募集につきましては、「府中市公の施設における指定管理者の指定の手續等に関する条例」第2条の規定に基づき、指定管理者の候補者を公募いたします。

裏面をご覧ください。(2)の選定につきましては、同条例第4条の規定に基づき、有識者等による選定会議を経て指定管理者の候補者を選定いたします。

6の「今後の予定」でございますが、表にありますとおり、指定管理者候補者の公募を本年12月から平成24年3月まで行い、候補者の選定を平成24年3月から5月まで行います。その後、指定管理者の指定を平成24年9月に市議会におきまして承認を得まして、協定の締結を平成24年10月から平成25年3月までに行い、指定管理者による管理運営を平成25年4月1日から開始いたします。

以上で説明を終わります。よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

**○委員長(久芳美恵子君)** 事務局からの説明が終了いたしました。指定管理者制度の導入につきまして、何かご質問ございますでしょうか。

それでは、ちょっと私からですが、本年12月から来年の3月まで、指定管理者の候補者の公募をするということでございますが、今まで幾つか指定管理者で運営している公の施設がございますけれども、そこと比較してというか、大体どのぐらいの候補者が集まるであろうとか、そういう見込みみたいなものはありますでしょうか。

**○生涯学習推進担当副主幹(茂木孝之君)** 実際、広く公募してからでしかわからない部分もありますが、今現在、各社、数社ほど問い合わせがございまして、その問い合わせに対する対応を行っております。具体的には、問い合わせがあるのは2-3社といったところです。

以上です。

**○委員長(久芳美恵子君)** ありがとうございます。そうですね、それなりに公募の場合は、規模というか、何社か公募してきて、そこの中から選択するということが必要だと思うんですね。あまり少ない中で、こっちかあっちかというよりも、いろいろな方が公募してくださるといいなと思っております。

ほかにいかがでしょうか。はい、どうぞ。

**○委員(崎山 弘君)** この制度が導入された後、この当該施設内に市の常勤の職員というのは、どのような職種が何人ぐらい残るのでしょうか。まったく残らないのか。

**○生涯学習推進担当副主幹(茂木孝之君)** 職員が学習センターに残るかという話ですと、職員すべてが学習センターから引き上げる予定を考えております。ただし、学習センターを運営する上で、指定管理者との調整、連携等が必要となりますので、それに関する担当者は置くことになると考えております。学習センターにはおりませんが、そういった職員は違う部署の部分で必要となるかとは考えております。

**○委員(崎山 弘君)** その担当される市の方との連携というのがとられると思うのですけ

れども、それはそういう、その場合には何か会議みたいなものを、例えば市役所とかで定期的に行って運営をするということでしょうか。

○生涯学習推進担当副主幹（茂木孝之君） 指定管理者を導入するに当たりまして、モニタリング制度というものがございます。定期的なモニタリング制度の中での指定管理者と市職員との調整、確認もございますし、また、それとは別に、業務を運営していく上で必要であれば、そういった場を設ける必要があると考えております。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） それに関連すると思うのですが、先ほど図書館ともう一つの業務は、指定管理者ではなくて市がやるとおっしゃっていらっしゃいましたが、その部署に関しては常勤の職員の方がお残りになるということでしょうか。

○生涯学習推進担当副主幹（茂木孝之君） 業務の範囲の中で説明いたしました、一つ目の社会教育関連事務という部分につきましては、現在、学習センターの中の企画係という所管で、平和啓発事業や社会教育団体関係の事務がございます。その部分については、指定管理者には移行せず、職員は残る予定ではないのですが、別の部署で業務を続けていくことになろうかと考えております。

また、図書館につきましては、現在の運営をそのまま行いますので、職員等に関しては、今と変わらない状況になります。

以上です。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。

ほかにかがでございましょう。はい、お願いします。

○委員（北島章雄君） 業務の範囲の中で、施設、設備及び備品の維持管理となっておりますけれども、建物等は貸与という形をとるのでしょうか。それとも既存の建物は使用していただいて、その維持管理の中には修繕とか、備品が壊れたら直すとかという部分も入っているのでしょうか。

○生涯学習推進担当副主幹（茂木孝之君） 基本的には、施設全体を指定管理者のほうに管理運営していただくこととなります。修繕につきましては、規模がいろいろございますので、指定管理者との協議の中で、その修繕の具合ですね、大きい小さいがございますので、約束の中で、小さい修繕については指定管理者のほうでお願いするような形をとるようになるかと考えております。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） よろしいですか。

○委員（北島章雄君） 施設を指定管理者に、大きな建物の部分については、要するに賃料とか、そういったものが発生しないで、既存のままで見ていただくという解釈でよろしいのでしょうか。

○生涯学習推進担当副主幹（茂木孝之君） 特に賃料をいただくような形はとらない予定でおります。

以上です。

○委員長（久芳美恵子君） 質問、いかがでございましょうか。

それでは、ご意見がございましたら、どうぞ。この指定管理者制度につきましては、何かご

意見があれば、いかがでしょうか。はい、どうぞ。

○委員（北島章雄君） 先日、生涯学習センターに行ってきたのですが、備品等に、特に座るイス等でほつれが来ていたり、そういうところが見られたので、やはりいらっしゃる方が不快に思うような形ではなくて、きれいにできればなと感じたので、その辺を指定管理者のほうにやっていただきたいなと思いますので、よろしく願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） ほかにいかがでございましょうか。よろしゅうございましょうか。

それでは、この生涯学習センターに指定管理者制度を導入するということに関しまして、お諮りをいたします。第26号議案、府中市生涯学習センターにおける指定管理者制度の導入及び府中市生涯学習センター条例の一部を改正する条例の申出について、決定することにご異議はございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（久芳美恵子君） 全員異議なしでございまして、原案どおり決定いたします。よろしくどうぞお願いいたします。

それでは、議案はこの1件でございまして。

報告・連絡、いかがでございましょうか。

報告・連絡、本日はございませんようでございまして。

それでは、その他は何かございましてか。

ないようでございまして、それでは教育委員の報告に移ります。



#### ◎教育委員報告

○委員長（久芳美恵子君） 報告をお願いいたします。

○委員（北島章雄君） 北島より報告させていただきます。

9月16日、金曜日です。熊野神社古墳展示館開館式へ出席いたしました。建物は大きな建物ではなかったですが、石室実物大復元模型が完成されると、素晴らしい学習の場になるのではないかなと思いました。また、2階の展示室には、古墳の土層断面のはぎ取り土層が壁一面を使って展示されておりまして、それはとても見事でした。

9月17日の土曜日、府中市美術館「世紀末、美のかたち展」のセレモニーに出席いたしました。その「美のかたち展」開催にあたり、東京新聞、そして北澤美術館ほか関係機関の方々のご協力により開催されましたということをお聞きしました。美術館長のお話と学芸員のスライドを使用した詳しい説明をお聞きし、大変効果があると思いました。

9月18日の日曜日、第54回府中市市民体育大会秋季大会開会式へ参加いたしました。とてもすごい快晴で暑い中、大勢の方々が入場行進をし、特に野球、卓球、サッカーの選手が多かったです。公開演技のNPO法人日本ダブルダッチ協会のダブルダッチの演技が見事でした。

9月30日の金曜日、教育委員会訪問で生涯学習センター、若松小学校、第五中学校に参りました。生涯学習センターは、学習施設、体育施設、宿泊施設、その他の施設を見学、どの施設も素晴らしいので、施設のPR等で多くの市民が利用できるようにと思いました。

若松小学校は、教室改修の関係で校長室が手洗い場になっているというお話、今後、1年生の入学児童が80名と少ないということだったのですが、第六小学校学区に変更された児童も若松小学校を選ぶ予定で、今後の人数の変遷はあまりないだろうということでした。特色ある

教育活動で、周辺施設を活用した諸活動、浅間山公園とか府中の森公園、美術館等があり、また、美術館には4年生が見学に行き、学芸員の説明を受けていたそうです。特に、近くにある浅間中学校、それから都立府中工業高校との連携もしておるということでした。PTA活動では、通学路の危険箇所の点検と、第二小学校、第十小学校、浅間中学校への危険箇所の情報提供をしておるということで、P連で全校的に危険箇所を把握できればよいということを校長先生がおっしゃっておられました。

第五中学校では、新校舎の改築工事中でございますが、仮設校舎での学校生活、校庭が狭いことによる体育の授業や部活動への影響もさほどなく、比較的安定した生活が営まれていると思います。また、第五中学校は50年にも及ぶ伝統、毎日掲揚される生徒会旗、生徒会の旗です。毎日掲揚されているということで、伝統を重んじる生徒が大勢いるのだなと感じてまいりました。

10月1日、若松小学校第40回運動会に参りました。生徒たちは鼓笛隊の演奏によって入場し、1年生の代表の子が元気な大きな声で運動会の言葉をあいさつし、校長先生は三つのF、ファイト、フェアプレー、フレンドシップ、友情の中で協力し合い競技をしましょうというお話をされました。ちょっと校庭が狭く感じて、応援に来られた保護者たちは立って見学をし、脚立持参で写真を撮影していました。

10月7日、金曜日、府中市立小学校陸上記録会に出席いたしました。私が行ったときはAブロックで、第二小学校、第五小学校、第八小学校、第九小学校、四谷小学校の生徒たちが記録会へ参加いたしておりました。そのときに東京学芸大学の生徒が模範演技をしました。リレー、ハードル、走り幅跳び、陸上部の選手なので、とても大きい、また格好よく見せていました。児童代表の第五小学校の小牧君が、精一杯練習してきたのでベストを尽くして頑張りましょうとあいさつしておりました。

10月8日の土曜日、みどり幼稚園の運動会へ出席いたしました。園児の元気なあいさつから始まりました。みどり幼稚園は第二小学校の6年生の児童20名が用具運びの手伝いに来ており、これはいい連携がとれているなと感じた次第です。

10月14日の金曜日、四谷小学校の研究発表会に参りました。研究主題は「コミュニケーション力を身につけ、自分の思いを伝え合う子ー国語科を通してー」ということです。公開授業を見学し、各教室の机の配置等工夫され、児童が集中して学んでいる姿勢がよかったと思います。講演で、講師、国際プレゼンテーション協会理事長、八幡先生が「相手の立場に立って伝え合える子どもを育てる」という演題でお話しされました。演題の初めに、一番前に座っている方に、どうしてこの席に座っているのですかとお聞きしたり、また、後ろに座っている方にもお聞きしていたのです。その先生が、座る席によって性格が違うんだよ、左手に座る人は協調的であるし、右側に座る人はちょっと反対の意見を言うというようなことをおっしゃっておりました。席が、前のほうが空いていたのですけれども、皆さん、前のほうに座りましょうとあって、ずっと前のほうに座っていただいて、先生もマイクを使わずに講演をしていただきました。とても、プレゼンテーション協会の理事長であり、その先生のプレゼンテーションを聞いているのだなという感じがいたしました。とてもすばらしかったです。

10月15日にP連の三者対抗ソフトボール大会、これは雨天で中止になりまして、懇親会に出席させていただきました。校長先生、副校長先生、そしてPTAの会長ほか役員の皆様と

楽しいひとときを過ごさせていただきました。

昨日なのですけれども、10月19日、新町小学校の研究発表会に出席いたしました。研究主題は「自ら考え表現する子どもの育成ー生活科・理科の学習を通してー」ということです。公開授業を見学いたしまして、5年生の理科、農工大学の4号館の4階の実験室に見学に参りました。大学のキャンパスで行われた授業で、児童たちは大変よい経験をしたのではないかと思います。また、2年生の生活科で「あそんで ためして くふうして」ということで、校舎裏のグリーンランドの授業を拝見し、自然を観察し、また、隣に恵みがありまして、とても環境に恵まれているなと思いました。講演が国立天文台天文情報センターの伊東さんで、「宇宙からのメッセージ」という演題でご講演いただきました。スーパーコンピューターでつくられた「M i t a k a」というソフトで、地球を離れ宇宙旅行、銀河を見させていただきました。とても視覚でとらえて、すばらしい講演を聞かせていただきました。

以上です。

○委員(崎山 弘君) では、崎山から報告いたします。

この1カ月の間に、市民体育大会の開会式、若松小学校、生涯学習センターの教育委員訪問、第一小学校の運動会など参加しましたが、他の委員の方と重複するところは割愛いたします。

私は武蔵台小学校の校医もしておりますが、その関連で2点お話いたします。

9月30日、セカンドスクール前健診を武蔵台小学校の保健室で行いました。数名、風邪症状を思わせる生徒がいましたが、おおむね健康状態は良好で、この時期に多い喘息の発作を思わせる児童もいませんでした。10月3日に武蔵台小学校はセカンドスクールに出発したのですが、八ヶ岳に到着してから1人、発熱で近隣の診療所を受診したとのことでした。現地での対応が早かったのでしょうか、翌日には解熱して、その後、全行程を無事に過ごして、全員元気に帰ってきたとのことでした。この件に関しましても、一応ホットラインで発熱して受診した旨の電話をいただきまして、相談を受けました。もしかしたら途中で帰宅もあり得ると考えて、2日目にご両親に府中山荘まで来ていただいたのですが、ご両親と学校の先生方と話し合っ、そのままご両親はお帰りいただいて、子どもはそのまま府中山荘で様子を見ることになりました。結果として、この児童はみんなと一緒にセカンドスクールを楽しむことができました。

この事例について思うことなのですが、受診する、一晚様子を見る、ご両親を府中から呼び寄せる、児童を残して両親は帰宅する、それぞれの決定に学校の先生方、教育委員会の職員、両親などが情報を共有して判断したことがよかったと思います。だれか1人責任者がいて、そこで全部決めるという方法でなかったことが、体制として十分機能していると感じました。今回は児童の健康についての問題だったので、私も関わりましたが、おそらくほかの出来事についても同様に対応されているのではないかと思います。日光林間学校や八ヶ岳の視察に行った際も同様に思いました。問題点に関わる者が情報を共有して、みんなで考えて方針を決定する、この過程が大切なのであって、結果としてどうなるかは、また別であります。少なくとも、どのような結果になったとしても、不満を招くことを防ぐ役割は十分果たせるシステムだと感じました。

2点目、10月18日に学校保健委員会として、30名ほどの保護者を前に放射能の話をしてまいりました。サーベイ・メーターを持参して、身近なところに放射線はもともと存在していることを示して、東京都府中市付近の環境ではまったく心配がないこと、また、食べ

物、給食の食材も含めた食べ物についても、同じものばかり食べるということをしなければ、もしわずかにセシウムが付着したものを食べても、日常生活の中で自然から受ける放射線量とまったく変わりがないということについてお話ししてまいりました。

以上です。

○委員（糸満純一郎君） 続きまして、糸満から報告をさせていただきます。

私は、まず16日、熊野神社古墳の展示館のオープンに参加をさせていただきました。

翌17日、土曜日は、美術館の「世紀末、美のかたち」、企画展のオープニングセレモニーに参加をいたしました。

それから、翌9月18日の日曜日ですが、市民体育大会秋季大会の開会式に参加をいたしました。今年は例年と違って小さな子どもたちが参加しないというようなこと、それから表彰式も、具体的にどこをどうしたか、ちょっとわかりませんが、相当簡略化したということで、いつもはもう、結構、秋とはいえ炎天下、延々と開会式が続いていたわけですけれども、今年はそのような意味で簡略化してよかったのかなという印象を持ちました。

9月30日に教育委員会訪問で、私も生涯学習センター、若松小学校、第五中学校と見学をさせていただきました。

それから10月4日の火曜日ですが、総合型地域スポーツクラブの設立総会に出席をいたしました。これはどういうことかと申しますと、従来、日本のスポーツ界と申しますのは、学校スポーツを底辺として、実業団、企業スポーツを頂点としたピラミッド型で、そこから世界選手権だオリンピックだと選手が出てくるわけですけれども、欧米型と申しますか、総合的な地域のスポーツクラブ、そういったものを設立して、従来のピラミッド型とは別個の形でやっていくのだという趣旨で、これは国、東京都の肝いりでつくったスポーツクラブなのですが、内容的にはまだ、なかなかそこからオリンピック選手出場というところまではいかない、そういった種がまかれたのだと理解をしているところでございます。

10月6日に、私も陸上の記録会を少しのぞきに行きました。ここで感じたのは、各学校それぞれに力を入れていただいているのですが、やはり学校の力を入れた種目は、やはり子どもたち、成績がいいなど。ある学校で800メートル走、中距離ですけれども、子どもにとっては長距離的な距離ですけれども、ある学校ばかりが目立つのですね。それで聞きましたら、実はここに力を入れてやってきたのだということで、子どもというのはそのようにちょっと力を入れて、指導の先生が力を入れると、もうレベルアップと申しますか、実力の底上げがされるのだなという印象を持ちました。今の体力の調査でも、東京都も含め、府中市も子どもたちの体力向上ということで課題がありますので、やはりこういった地道なふだんの努力が大切だなと感じたところでございます。

10月9日の日曜日、ふるさとまつりがございまして、午前中は市長さんが徳川家康の格好をして、鷹狩りの実演がございました。かつてもこんなふうに使っていたのかなという思いで見学をさせていただきました。午後からは民謡流しということで、教育委員会事務局も中心になって、職員の連も、一番最後ですけれども、尻尾について参加をしてまいりました。私も参加をいたしました。その後、国司パレードということで、国司の格好で並木道を歩いたというようなことでもございました。

10月14日の金曜日、四谷小学校の研究発表会に行つてまいりました。コミュニケーショ

ンをテーマとした研究発表でございましたけれども、一般には企業等が研修しているプレゼンテーションですね。これは先ほど北島委員からも報告がございましたが、理事長を招いて、その切り口でやっていたということで、普通、学校の研究というと、学校単位でやって終わってしまうものが多いのですけれども、そういう社会的な活躍しているところから、コミュニケーションをプレゼンテーションという切り口で研究したということで、非常に新鮮味があるなどという印象を持ちました。

10月15日の土曜日、ソフトボール中止の後の懇親会、私も出席をいたしました。

翌10月16日の日曜日ですが、退職校長会から、毎年この時期にやるのですが、府中市の教育の現状について語っていただきたいということで、室長ともども行ってまいりました。先方のほうが教育業界に長くて詳しい方ばかりですので、釈迦に説法的な話になったのですが、現況について、詳細についてご報告をしてまいりました。

それから10月19日の水曜日、新町小学校の研究発表会、私も行きまして、お話にもありましたけれども、東京農工大学と非常に連携ができています。府中には農工大学のほかに東京外国語大学もありますし、都立高校も五つあるということで、教育委員会としても各学校、そういった教育施設といえますか、大学、高校と何とか連携していきたいなということで、今、検討を進めているところなのですけれども、新町小学校と農工大学の関係は、そういう意味でははるか先に行っている、理想系ができていますなどという印象を持ちました。

以上でございます。

**○委員（齋藤裕吉君）** それでは齋藤のほうから報告をさせていただきます。

全部、これまでの委員の先生方と同じ内容になるかと思いますが、ちょっと感想が少しずつまた違うものがあるかもしれませんので、お話しさせていただきます。

9月16日、金曜日ですけれども、熊野神社古墳の展示館の開館式典ということで出席をさせていただきました。以前、第五小学校に勤務しておった関係もありまして、ちょっと特別の思いがございました。たしか4年前でしょうか、第五小学校の子どもたち、低学年の子どもたちに、くまじいの塗り絵ということでみんなに書かせて、コンクールということで応募したりして、古墳というものがここにあるんだよと、そのような指導をしたことなどを思い起こしながら参加をしておりました。ぜひ、まずは近隣の子どもたちに、身近で大変貴重な学習施設として大いに活用してほしいなと思いました。

次に、9月17日、土曜日ですけれども、17時15分から府中市美術館の「世紀末、美のかたち」の開会レセプションということで、ガレのガラス工芸とか、ゴーギャンの版画など、大変にすばらしい、ハイレベルの展示の内容だったなと思いました。さすが府中という感じがいたしました。子どもたちにぜひ鑑賞させたいなと思いながら見せていただきました。

次に9月18日、日曜日ですけれども、午前中、市民陸上競技場での市民体育大会の秋季大会の開会式ということで、同じく出席をさせていただきました。今年は全体の進行がとても早くなったのがとても工夫された点かなと思いましたけれども、やはり小学生がいないということが何か寂しいというか、そんな感じを持ちまして、相矛盾することなのですけれども、小学生のほうは1週間前に別の形で実施をしたというお話でございますけれども、そうなのかなと思いました。参加をしていた校長先生方もどんな思いでいたかなというようなことも、ちょっと考えたりしてみました。

9月25日の日曜日、午後から府中市立中学校連合音楽会ということで、芸術劇場のどりーむホール、出席をいたしました。吹奏楽の部と合唱の部と大きく二つに分かれておりましたけれども、学校によって非常に特徴があって、まず見た目から、メンバーも人数も大きな違いがあったり、それから音の響きにもそれぞれ学校ごとの特徴があると感じました。しかし、いずれの学校においても、生徒たちはとても真剣に演奏していて、また、聞く態度もとてもよかったですなと思っております。

10月1日、土曜日ですけれども、午前中を中心に運動会の視察、最初に第五小学校を視察いたしました。開会式のときからしばらくの時間、見せていただきました。その後に住吉小学校のほうに足を運びました。両校とも非常に子どもたちも、また職員、先生方も大変元気いっぱい、熱心に指導、また演技をしてくれておりました。一番大きな違いがはっきり見えたのは、少し風のある日だったのですけれども、第五小学校では全面芝生という、その上ではだしの活動ということで、ほとんどほこりが立たなかったというか、目立たないのですね。一方、住吉小学校のほうでは砂ぼこりが大分立っておりまして、両校とも非常に熱心に演技をしているのですよ。そこはもうまったく問題はないのですけれども、ああ、そういう違いがあるのだなということを感じました。

それから10月8日には小柳幼稚園の運動会を参観いたしました。本当によいお天気で、子どもたち、元気いっぱいの演技を見せてくれました。特に、保護者の皆さん方と先生方が一体になって運動会を運営している、進めているという姿が、また一つ、特に目立った感じがいたしましたして、すばらしいなと思いました。

10月15日の夕方、5時からのP連主催の懇親会、同じく参加をさせていただきました。P連のパワフルさを感じたという一言でしょうか。

それから10月19日は、水曜日、新町小学校研究発表会ということで、先ほどからお話がございますとおりですけれども、私は、講堂での発表では触れられなかった点で感じたことを一つだけ申しあげますと、指導案とか授業を見ますと、一人ひとりが考えるプロセスと、それからみんなで考えるプロセス、これがうまく組み合わせられていたということですね。つまり、学びというのは、最後は一人ひとりの学びでなくてはならないと思うのですけれども、しかし教室の中での学びには、互いに学び合うという互恵的な学びというのでしょうか、そういったものがあるべきだと私は思うのですが、そういったことをよく考えて、効果的に授業デザインがなされている、そんな発表の中の授業であったし、指導案であったなということを感じました。これまでの積み重ねが非常によく生きている、そういう発表だったと私も思いました。

あと、課題というか、学校の課題ではないのですけれども、たびたび、研究発表会に出席して感じますことは、これだけすばらしい実践と研究を積み重ねて発表していらっしゃるのですけれども、それならばもっと参加者がたくさんいてほしいなということを感じるところです。各学校、それぞれの校内事情等があって、みんなで出かけるというわけにいかないのかとは思いますが、成果の共有という点で、何かこれから工夫できることはないかなということを考えているところでございます。

以上です。

○委員長（久芳美恵子君） それでは、久芳より報告させていただきます。大体同じようなこととございますが、感想の部分だけでもご報告いたします。

9月16日の熊野神社古墳展示館の開館式典に私も行きました。くまじいと、その日はおくまちゃんというかわいいアイドルもいまして、このキャラクターが熊野神社の一つのシンボルになると、また子どもたちもたくさん見に来てくれるのかなと思いました。先ほど北島委員からご報告にもありましたけれども、墳丘の断面が、土を固く固めてスライスしたという、土の層がはっきり出たものが展示されていて、私も非常に興味深く感じました。鞆尻金具の複製も展示されていましたけれども、文様が大変美しくはっきり出ている、とても見ていてうれしかったです。別室で石を積み上げる復元作業がVTRで流されていました。その辺のところも、子どもたちは非常に興味を持ってくれるのではないかなと思いました。学習室の様な形で机とイスがあったので、それが開館して、子どもたちが先生たちやお友達と一緒に来たときに、ああ、こういうふうにして石って積み上げられるんだというのが学習できると思うので、とてもいい試みだと思いました。

翌9月17日の午後5時15分から、美術館の企画展「世紀末、美のかたち」開会レセプションに私も参加いたしました。東京新聞と北澤美術館のご協力を得て、大変すばらしい企画展でした。企画構成をなさった学芸員さんから説明がありまして、この「美のかたち」を四つの分野に分けて展示していると。「自然とかたち」、「文字を刻む」、「異形之美」、「光と闇」という、この説明を聞いてからまた作品を見直すと、非常にインパクトが違うなと思いました。いつも学芸員の方の説明を聞くと、本当にそう思うのですが、とてもよいレセプションでございました。それで、この企画展と非常に関連があるのですが、実は昨夜、府中の森芸術劇場でプラハ国立歌劇場の「トスカ」を、オペラなのですが、見ました。この「トスカ」の、これはいわゆるポスターでしょうか、それが、アルフォンス・ミュシャの描いたものが企画展のパンフレットの後ろにあるんですね。アメリカ公演なのだと思うのですが、この「トスカ」というのは、作者のサルドウという方が、サラ・ベルナールという歌手に捧げた作品で、サラ・ベルナルの公演のポスターをミュシャが制作したのだそうです。これがもう企画展のまさに1枚なわけです。そのつながりというものを感じまして、いや、府中市なかなかやるなと思いました。これがすばらしい展示なのに、府中市以外の巡回がないと聞いて、非常に残念でした。こういうすばらしいものは、できれば三多摩のほかの地域の方とか都内の方、府中に来られる方はいいですけれども、そうではない地域の方にもぜひぜひ見ていただきたいなと感じた次第でございます。

そして、9月18日の陸上競技場で行われました第54回市民体育大会の開会式なのですが、先ほど来、ご報告がありましたように、空はすっかり秋空なのですけれども、気温が30度を超えて暑い日でございました。開会式参加の方々が、やはり1時間を超える中、芝生の上におられて、熱中症がとても心配されました。事前に、今回から教育委員長あいさつが省かれたということは聞いておりましたが、参加者のことを考えると、これは本当にそうだなと思いました。表彰式が約20分もありまして、これをもう少し、半分ぐらいにできないかなと思いました。もし必要ならば、開会式ではなくて閉会式、大体、郷土の森の体育館の室内でやりますので、そこでやってもいいのかなと、これは部外者だからそういうことを言えるのかもしれませんが。開会式にやる意義というものがあるのかもしれませんが、その辺のところも考えていただきたいと感じた次第でございます。

22日ですが、府中の森芸術劇場で、これはコンサートの公開リハーサルが公募されて、市

民の1人として応募して行かせていただきました。これは翌日、23日に行われるマーラーの「巨人」という曲を、1時間ぐらいリハーサルをするというのを見学するものでしたが、リハーサルに70名ぐらい来ていらっしやいました。指揮の方がオケのほうを向いて何を指示しているのかは、ほとんど聞こえないのですけれども、指示の後の演奏が非常に変わったりするのが非常に興味深いです。随分以前に、やはり芸術劇場で、ワグナーの「さまよえるオランダ人」というオペラのリハーサルにも私は顔を出したことがございました。本番というのは、もうでき上がったものを見るだけなのですが、リハーサルというのは、そのつくり上げる過程のプロセスが見えるので、教員という職業がら非常におもしろく感じました。どこを指摘されて、それがどう変わっていくかというのがおもしろかった記憶があって、今回も参ったわけですが、70名ほどの方々が熱心に見学していらっしやいました。この公開リハーサルのような機会がもっと増えると、多くの市民の方が参加できて、音楽を楽しむことができるのではないかなという印象を受けました。

9月30日が市教育委員会の訪問、生涯学習センター、若松小学校、それから第五中学校です。

1日の運動会は、第三小学校と南町小学校、そして10月8日、矢崎幼稚園の運動会と行かせていただきました。矢崎幼稚園の運動会、先ほどの運動会の報告にもありましたように、やはり教員の数が少ないので、お母さん方が道具の出し入れですね、それをもう本当に一生懸命やってくださっている。小学校だったら高学年の子どもたちがやる役割を全部やっていただいて、運動会はお母さん方のパワーなしではできないなと思いました。それと、矢崎幼稚園では前園長先生もおいでになって、子どもたちを励ましておいでになりました。

それから一つ、以前はもっと多くの学校とか園からいただいたのですが、見学に行ったときに、その場でありがとうございますというお礼のお手紙ですね、これを今回、矢崎幼稚園でいただいて、いや、これはもう要らないかなと思いました。来ていただいてありがとうございますという気持ちはとてもわかりますが、その場だけで終わり、わざわざ封筒と文書をつくってお礼のお手紙をお渡しするというのは必要ないかなと思いました。

10月9日に、これも先ほど糸満委員からの報告で、ふるさとまつりのご報告がございました。府中本町駅東側の遺跡が見つかったところで放鷹術、鷹狩りの再現ということでございました。国史跡武蔵国府跡御殿跡地で行われて、私の感想は、鷹って随分種類があるのだなということです。オオタカだけではなくて、ハヤブサであるとか、ワシミミズクというのとか、それからハリスホークという外国で生まれた鷹なのですが、その鷹も参加して、いわゆる人から人、人の腕から人の腕へ飛ぶとか、実演では小学生が疑似餌みたいなものを引っ張って駆け抜ける、そこを鷹がねらって食らいつくというものも見せていただきました。徳川家康に扮した市長さんが大変恰幅がよかったので、ああ、家康はあんなだったかなと思わせるようなお姿でございました。

以上でございます。

それでは、これにて平成23年第10回府中市教育委員会定例会を閉会といたします。

ありがとうございました。



午後2時24分閉会